

今、やらなければ  
ならないこと。

「無党派  
無会派」

長岡市議会議員

関たかし

せきたか通信／号外

## 政治の劣化をくい止める ~原理原則が歪まない社会へ~



近年、国政でも市政でも民主主義や政治の劣化が止まりません。

長岡では官製談合が発覚し、これに対する議会での私の質問が不許可となり、本会議での一般質問では議員は意見や要望を述べることができないと申し合わせも成立しました。申し合わせなので守らなくとも罰則はありませんが、法律以上に発言を制約する申し合わせは全会一致が原則にもかかわらず、反対意見を押し切って成立させたことも大問題です。官製談合では、私の調査で市が組織的に関与した疑いが極めて濃厚となりましたが、市は第三者委員会による調査どころか独自調査すらしていません。この他にも公文書の書き換え問題や原発再稼動の事前了解権の問題等が山積しており、市議会や市役所の組織体質が厳しく問われています。

政治の劣化を止めるため、私は市議の立場で努力を続けますが、主権者である市民にも立ち上がって頂かなければならない状況です。

一人ひとりが幸せを感じられる 持続可能な社会を目指して。

### 先の見えない現代社会の 根本を変革

新しい社会を構築していくために  
必要な「価値観の転換」とは？

#### 今までの価値観

#### 新しい価値観

あわただしい	穏やか
経済中心	人間中心
成長	安定・持続性
争い	助け合い
モノお金の豊かさ	心の豊かさ
画一性	多様性
お金による人間関係	絆・思いやり
他人との比較	自分らしさ

### 長岡から始める！ みんなが幸せになるまちづくり



長岡は戦災や災害で多くの命やモノを失いましたが、精神(心)を大切にして復興してきました。

心の時代と言われる21世紀は、長岡の躍進が期待される時代だと思います。

「あなたは何のために生きているのですか？」と問われて、即座に答えることができる人は少ないように思います。身体を維持するために生きているのであれば、「明日生きるために今日生きている」ということになります。はたまた、死ねないから生きているのでしょうか。

人は、「幸せになりたい」「不幸になりたくない」と願って一生懸命に生きます。しかし、幸・不幸は何で決まるのでしょうか？ お金や肩書や他人からの評価（承認欲求）で決まるのでしょうか？ これらは「幸せのようなもの」と言われ、手にした喜びが持続しにくいため、ある意味で永遠に追及しなければならなくなり、心の安定を得ることは難しいです。「本当の幸せ」は自分で自分を認める自己肯定感の高まりであり、そこから湧いてくる自身の生き様の追求ではないでしょうか。自己肯定感を高めるには、自身を客観視して向き合った結果としての自己理解が必要ですが、学校でも家庭でも職場でも自身との向き合の方は教えられていないようです。自身と向き合った人は他者とも向き合え、その結果として好影響を与えることができますから、好循環が見込めます。

近年、マインドフルネスや瞑想が脚光を浴びており、自らの内面に向き合う重要性が認識されつつあるようです。市民の自己肯定感が高まる仕組みを市政に組み込みましょう。

ここが問題

## 長岡市の原発政策



Q1 福島原発事故以降、長岡市にかかわることで変わったことは何？

A 柏崎刈羽原発の30km圏内に大部分が入る長岡市は、立地自治体と同様にリスクがあるから、事故に備えて避難計画を作る義務が生じたよ。

Q2 原発は絶対安全なの？  
避難計画は？



A 国の原子力規制委員会は「新規制基準に適合しているかを判断するので絶対の安全を保障するものではない」「避難計画の実効性は審査しない」と言っているよ。

Q3 長岡市は原発の再稼働に「NO」と言えるの？

A 国は「地元同意を得て再稼働」と言っているけど、どこまでが「地元」の範囲かは決めていないんだ。だから長岡は、再稼働にイエスやノーと言う権限を持っていないよ。

Q4 おかしな状況じゃない？



A その通りだと思うよ。茨城県では東海第2原発の30km圏自治体の5市が再稼働の事前了解権を含む協定を電力事業者と締結したから、長岡市も同じような仕組みを作る必要があるね。でも、長岡市はそのような協定を求めていないんだ。

関たかし  
の主張

避難計画の策定義務を背負わされる以上、長岡市も茨城県のような再稼働の事前了解権を含む協定を東京電力と締結すべき

### 政治家こそが、希望ある未来を描いてもらいたい

私は、市民の代表である政治家にこそ、希望ある明るい未来を大いに語ってほしいと思っている。そして幸せな未来を描いてもらいたい。それでこそ、この現実が明るい未来に近づくと思っているからだ。

関たかしは、数少ないそのような政治家だ。だから、関たかしには、大いに明るい未来を語って、活躍してもらいたい。

時々、関たかしに対して「理想論だ、現実的でない政治家」という意見を聞くことがある。理想論を言う政治家はNGとの事だろう。

では、一体だれが、みんなが望む明るい幸せな未来を描き、語り、現実のものにしていくのだろう。選挙で選ばれた政治家がその位置に近いと思う。だから政治家こそが理想を語り、未来を思い描いてもらいたい。そのような政治家が増える社会を心から望んでいる。よし！頑張ろう！

若井由佳子（長岡市花園2）

～いっしょに「持続可能な社会」を目指しましょう～

政治も、地球環境も、わが町も…  
この今まで、いいのか？と、感じたら!!

関たかし後援会・入会申込書

お名前

お電話

関たかし後援会・入会申込みフォーム  
<https://ws.formzu.net/dist/S208209017>



ご住所

ご紹介者

※ご署名いただいた方には、関たかしの活動報告書「せきたか通信」をお届けします。

※記入いただいた情報は「せきたか通信」の送付等、今後の後援会活動以外には使用いたしません。

※ご入会いただいている方で、家族構成の変化や誤字・脱字があった場合にはお手数でも再度ご記入下さい。

## 関たかしプロフィール

昭和 41 年 長岡市信濃 2 丁目に生まれる  
昭和 54 年 長岡市立中島小学校卒業  
昭和 57 年 長岡市立東中学校卒業  
昭和 60 年 新潟県立長岡高等学校卒業  
平成 元 年 滋賀大学経済学部卒業  
日立化成工業(株) 入社

家族構成：父、妻、長女、長男  
趣味：バドミントン、釣り、瞑想

平成 3 年 衆議院議員秘書  
平成 9 年 高野不動産(株) 入社  
平成 11 年 同社退職

平成 11 年 長岡市議会議員初当選  
令和 5 年 1 月現在 六期目

## 関たかし後援会 TEL/FAX 32-0756

<http://www.sekitaka.net/>  
自宅 兼 事務所：長岡市信濃 2-10-43

※ご入会いただいた方には活動報告書「せきたか通信」を年1回お届けいたします。



## 関たかし後援会・入会申込みフォーム

<https://ws.formzu.net/dist/S208209017>



## 関たかしの実績（一部）

関たかしが関与した活動のなかから、一部を選んでお知らせします。

### ▶ 政治改革

- ◆会派無所属
- ◆議員権限・議員特權の適正化  
政務活動費（23年間で16回の返却、使途の適正化）  
議員の海外視察の中止、海外交流の抑制
- ◆官製談合事件の追求 **NEW**

### ▶ 環境分野

- ◆長岡市環境基本計画の改訂
- ◆学校での環境対策  
学校給食の地産地消化、紫外線対策、食器・床ワックス・トイレ消臭剤の切替、薬剤散布の低減、校内禁煙、環境共生学校への取り組み、緑のカーテン  
**熱中症対策ガイドライン策定 NEW**
- ◆新エネルギーの導入
- ◆市内における農薬を含む化学物質の使用量低減  
(例：街路樹に使用する農薬が1/10)
- ◆住宅地での農薬使用低減の周知を強化
- ◆自転車通行帯の整備
- ◆バスの利便性向上 バス停に屋根を架ける
- ◆立地適正化計画（コンパクトシティ）の策定

### ▶ 心と教育の分野

- ◆教育への取り組み  
子どもの自己肯定感を高めるために、大人の自己肯定感を高める必要があると、教育委員会も認識。危機感は持たせても不安感を持たせない、子どもたちへの安全指導。  
**重すぎる児童生徒の荷物（重すぎるランドセル）に係る配慮の促進 NEW**
- ◆子育ち支援の充実  
親への子育て支援+子どものための子育ち支援
- ◆部活動指導者のパワハラ・モラハラ対策の促進 **NEW**
- ◆自己理解型研修による教員と市役所職員の意識改革
- ◆市役所職員からファシリテーターを養成

### ▶ 財政・経済分野

- ◆健全財政の堅持 ◆橋の長寿命化対策
- ◆公共施設の削減 ◆地域通貨の導入 **NEW**

### ▶ 災害関連分野

- ◆災害時の情報提供の迅速化 ◆道路冠水時の通行止め対策
- ◆雨水一時貯留槽の設置 ◆道路排雪の効率化

### ▶ その他

- ◆長岡市総合計画の改訂
- ◆市民からの要望や苦情への対応強化
- ◆公文書の適正管理の徹底 **NEW**

## 具体的な取り組み方針

新しい価値観による、新しい街づくりを目指し、私「関たかし」は、主にこれらの事に取り組みます。

### 政治改革

- |         |  |
|---------|--|
| 公平公正な市政 | ▶特定の者だけが利益を得る市政を改善                             |
| 議会改革    | ▶政務活動費等の議員権限の適正化<br>▶オール与党化する長岡市議会で、是々非々の立場を堅持 |

### 環境分野

- |       |                          |
|-------|--------------------------|
| 原発    | ▶(詳細は裏面をご覧ください。)         |
| 交通    | ▶公共交通の充実や自転車道整備等。        |
| 化学物質  | ▶安全性が疑われる化学物質を減らします。     |
| 低炭素社会 | ▶市内からの温暖化ガス（二酸化炭素など）を削減。 |

### 財政・経済分野

- |          |  |
|----------|--|
| 地消地産     | ▶生活の基本である「衣・食・住・エネルギー」をできるだけ地元で生産。               |
| コンパクトシティ | ▶地域でモノとお金をまわす。<br>▶維持費のかからない都市で、高齢化や地球温暖化にも対応できる |

### 心と教育の分野

- |       |  |
|-------|--|
| 教育を変革 | ▶「教育基本法第1条（教育の目的）教育は、人格の完成を目指し…」の実践        |
| 行政を変革 | ▶子どもの自己肯定感の向上と、そのために子どもを取りまく大人たちの自己肯定感の向上  |
| 子育て   | ▶自身を見つめる自己理解型研修を通しての風土改革<br>▶子育て支援から子育ち支援へ |

### 私が無会派・無党派を貫いている理由

長岡市議会には会派といいういくつかの議員グループが存在しますが、私は初当選からどのグループにも属していません。また、どの政党にも属していません。それは、党利党略や派閥の論理で行動するのではなく、草の根・市民派の議員として行動するためです。